



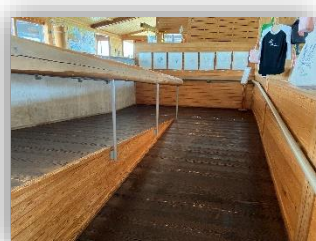
提携店訪問記⑭ いわむらかずお絵本の丘美術館 様

みなさんが一度は読んだことがある絵本、それが

「14 ひきのシリーズ」（童心社）や「こりすのシリーズ」（至光社）ではないでしょうか。この絵本、国内だけでなく、フランス、ドイツ、台湾などでもロングセラーとなり、25か国（最近モンゴルで発刊）の子どもたちに親しまれています。（昨今はフランス・台湾等各国からの訪問客も戻ってきたようです。）

いわむらかずお絵本の丘美術館は、その絵本の世界とその舞台である里山の自然が同時に楽しめる場所です。そんな那珂川町小砂にある美術館様を令和5年4月某日訪問しました。宇都宮方面から国道293号線を車で東に走り、若鮎大橋を渡って北向田交差点を左折、次に小口交差点を右折し、馬頭温泉郷入口を曲がらず直進、左手の小高いところにある白い看板を左折し、しばらく山を登り突き当りを右に、次に白い看板を左折ししばらく進むと美術館が見えてきます。美術館の手前道路の西側が駐車場。そこから少し歩くと美術館入口にたどり着きました。（天気の良い日は、道の駅から電動自転車で来館できます。）そして、学芸員様にお会いしてお話を伺いました。1998年4月に栃木県馬頭町（現・那珂川町）に開館した個人美術館。那須の清流那珂川を見下ろす、美しい丘の上にあります。四季折々、えほんの世界を楽しみ、里山にくらす生きものたちと出会える。そして、子どもたちの歓声が聞こえる。そこは物語の生ま

れる丘です。そんな、いわむらかずお絵本の丘美術館には、絵本の資料室、原画展示室、そして絵本を手に取りながら子どもの目線で鑑賞できる展示室と、ちいさなホールと読書コーナー、絵本やグッズを販売しているショップ、手作りのケーキが食べられるティールームがあります。（なかでも、トートバッグやTシャツの色付けが人気です。）また、美術館はハートビル認定建築物です。親子三代で来場される方も多く、車イス、ベビーカーなどで館内を利用することが可能のようにスロープ等広く作られています。また、いわむらかずお絵本の丘美術館がある、えほんの丘には、雑木林やくさっぱら、桑畑、杉林、檜林などの里山のフィールドと、えほんの丘農場があります。えほんの丘は、いわむらかずお絵本の丘美術館周辺にひろがる里山のフィールドでもあります。（除草剤を使わずたくさんの方の除草作業で保たれています。）館長様にはお忙しい中、ご対応いただきありがとうございました。



いわむらかずお絵本の丘美術館

住所 那珂川町小砂 3097

電話 0287-92-5514

開館時間 10:00～16:00(最終入館は 15:30)

休館日 月曜日(祝日の場合は開館,翌火曜日休館)

駐車場 120 台 (無料)

ホームページ <http://ehonnooka.com/>

特典 会員証の提示で 5 名様まで入館料 10%割引